

# 機械科課題研究発表会 1月15日(木)

甲府工業高校  
きかい科  
便り

第55号

2026/1/19



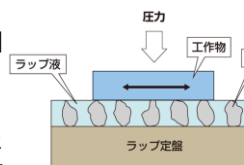
## 機械科の製図室のイスを新しくしました。



根本的な才能とは、  
自分に何かが出来る。  
と信じていることだ。  
ジョン・レノン

コラム

高精度な仕上げ面を必要とする場合、砥粒加工が使われる。砥粒加工には、硬くて小さい粒子が使われるので、金属ばかりか、セラミックスなどの硬質材料を仕上げることもできる。砥粒加工の中でも一般的なものは、研削加工である。砥粒を固めた砥石を使って工作物表面を削り取り、精度の高い仕上げ面を作ることができる。平面研削や円筒研削がある。



砥粒加工

1月15日(木)に機械科の課題研究発表会が行われました。3年生が課題研究を1年間かけて取り組んだ成果を機械科の1～3年生の生徒に向けて発表しました。どれも研究パートの特徴を分かりやすい内容で発表できていて素晴らしかったです。2年生も来年度に向けて、「来年の今」を考えて先輩の発表を聴くことはできましたか？2年生は来年度の課題研究を頑張ってください。

また機械科の製図室の長年使用していたイスの劣化などをふまえて、新しくしました。新年の迎え、新たなイスとともに心機一転、製図の授業に励んでほしいと思います。